**教科書の特色　「文学国語」（数研　文国・706）**

|  |  |
| --- | --- |
| **検討の観点** | **具体的な特色** |
| **⑴　学習指導要領との関係**  ・生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるような教材を選択している。  ・科目が目標とする資質・能力を育成するために適切な言語活動を用意している。  ・他教科との関連を考慮している。 | ・我が国の言語文化に対する理解を深めるのに適する文学作品が、明治から平成にかけて幅広く収録されている。  ・第一章、第二章ともに小説は時代別に配列され、近現代文学の変遷を踏まえて学習を進められるよう配慮されている。  ・生徒の発達段階に適した教材を使用し、各教材末には、文学作品を多角的な視点から考察できる具体的な言語活動が課題として掲げられ、指導が進めやすい内容になっている。  ・明治という時代背景を前提とした読解が必要になる「こころ」「現代日本の開化」「舞姫」や、太平洋戦争におけるフィリピン戦を描いた「野火」といった、地理歴史科と関連のある題材が用意されているなど、教科融合的な学習ができるよう工夫されている。 |
| **⑵　分量・構成**  ・読解力と創作力の定着に適した分量の教材や解説が用意され、整理されている。  ・学習内容について、系統的、発展的に構成されている。  ・学習の参考になる写真、挿絵、資料などが適切に選ばれている。 | ・「書くこと」「読むこと」の能力を偏りなく養成するのに必要な量の教材が掲載されている。  ・文学的文章を読むために身につけておきたい知識・技能を体系的に学習できるよう、重要事項の解説をまとめたコラム（「チェックポイント」）が設けられている。  ・教材の読解から発展させて、言語文化についての知識や理解を深めることができるコラム（「ズームアップ」）が充実している。  ・読解の助けとなり、知識の習得にもつながる写真や図版が豊富に掲載されており、また適切な位置に配置されている。  ・二次元コードを通じて、教材の理解を深めることができる「学習用コンテンツ」が多数用意されている。  ・国語的教養に関する「解説」や読書活動につなげる「作者解説」、比較読解用の「探究の扉」など、参考となる資料が随所に掲載されている。 |
| **⑶　表記・表現及び使用上の便宜**  ・生徒の学習や理解を助ける表記、表現になっている。 | ・文学的文章の学習に適した文字の大きさ、行間になっている。  ・専門性の高い用語や解釈が難しい箇所には脚注が設けられ、生徒が学習しやすい内容になっている。  ・作品、作家に関する資料や、図版資料が豊富であり、授業での参照や学習の整理がしやすくなっている。 |
| **⑷　印刷・製本・その他**  ・学習に適した紙面、製本様式になっている。 | ・本文用紙は軽量で、開きやすい製本様式となっている。  ・ユニバーサルデザインの観点で配慮された色使い、穏やかな色味で学習に集中できる体裁になっている。 |
| **総合所見** | ・教材の質、分量ともに適切であり、我が国の言語文化に対する理解を深め、社会生活に必要な国語力を効果的に育成することができる。 |